



STAT3阻害活性を有する抗がん活性フラノナフトキノ誘導体

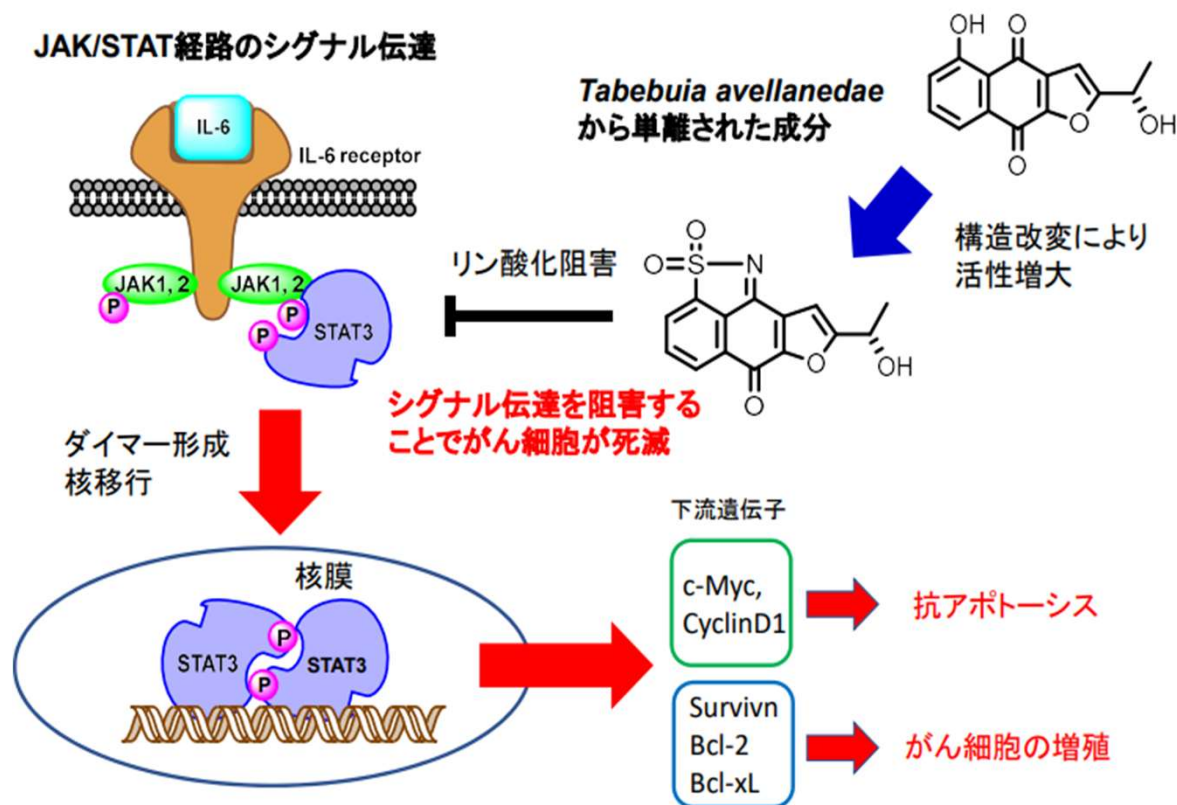
キーワード

がん, STAT 3, 医薬品, 有機合成化学, 天然資源

【研究内容の概要】

*Tabebuia avellanedae*から単離されたナフトキノ類の構造改変を行うことで、高活性STAT3阻害剤の開発に成功しました。

JAK/STAT経路のシグナル伝達



特徴／効果

- ・ STAT3のリン酸化を強力に阻害する
- ・ 天然由来物質を構造改変を加えることで高い活性発現に必要な構造を明らかにした
- ・ 従来のSTAT3阻害物質に比べて数十倍強いがん細胞の成長阻害作用を示す
- ・ 安価で市販の化合物から簡単に合成できる

利用／用途

- ・ 医薬品・農薬への展開が期待できる、特にSTAT3阻害による抗がん剤はいまだ承認されていない。
- ・ がん細胞の増殖のメカニズムの解明につながる
- ・ 抗がん剤の新規骨格となる

知的財産権等情報

農学部 応用生命化学科

飯田彰, 山下光明

特許出願

特開2025-142802

論文等

1 編

URL

研究詳細

<https://www.kindai.ac.jp/agriculture/>

連絡先：近畿大学 リエゾンセンター(KLC)

〒577-8502 大阪府東大阪市小若江3-4-1

TEL：06-4307-3099 FAX：06-6721-2356

E-mail：klc@kindai.ac.jp

URL：http://www.kindai.ac.jp/liaison/